

大津・南部 の森づくり

平成23年(2011年)12月1日発行

<編集・発行(偶数月)>

滋賀県西部・南部森林整備事務所 林業振興担当

TEL 077-527-0655 FAX 077-523-1831

E-mail dj35@pref.shiga.lg.jp<http://www.pref.shiga.jp/d/o-ringyo/>

全国育樹祭(奈良県)で2生森、表彰！～ 南比良生森&上仰木辻ヶ下生森 ～

平成23年(2011年)11月20日に奈良県で開催された全国育樹祭で、大津・南部地域から下記の二つの生産森林組合が表彰されました。

平成23年度ふれあいの森づくり 国土緑化推進機構理事長賞

上仰木辻ヶ下生産森林組合

平成23年度全国育樹活動コンクール 国土緑化推進機構理事長賞

南比良生産森林組合



上段のふれあいの森づくりの表彰は、山村と都市との連携、交流により森林整備を行い、都市住民や青少年等とのふれあいの場となる活動を実践した団体が表彰されるものです。

上仰木辻ヶ下生森では、林業の担い手減少などによる地域の閉塞感を打破するために検討を重ねてきました。その結果、地元の成安造形大学と連携して授業の一環として大学生を受け入れ、組合員とともに森林について学べる間伐や枝打ち体験を実施しています。

下段の全国育樹活動コンクールは、育樹に関する技術の積極的導入および実践により地域の育樹活動に効果を上げた団体が表彰されるものです。南比良生森では、枝打ちの際に通常使われる枝打ち梯子を使わず、高所からの転落事故を避けるために、6mの枝打ち用長柄鋸を多数導入し、地上からの作業をします。また、6m以上の枝打ちの場合は、リモコン式の枝打ち機を利用しています。毎年11月に実施している「総仕事」では、高齢者から若者まで組合員の半数以上の70名程度が参加して所有林の手入れをしています。

森林CO2吸収量認証！～ 南比良生森&滋賀県中小企業家同友会 ～



平成23年(2011年)11月6日、滋賀県立琵琶湖博物館において開催された森林づくりフォーラムにおいて、南比良生産森林組合と滋賀県中小企業家同友会の森林整備活動によるCO2吸収量約28tが滋賀県により認証されました。

これは滋賀県森林CO2吸収量認証制度により、森林所有者や企業等が森林整備を実施し、認定の申請をした場合に、その施業による二酸化炭素(CO2)吸収量を算出し、県が認定するものです。今回、この

制度が出来て初めての認定書交付式となりました。

COP3の京都議定書採択以降、日本においても低炭素社会の実現に向けての行動が進んでいますが、排出量を削減しても排出し続けていることには変わりありません。森林以外の業界ではCO2吸収は、いつも排出削減の陰に隠れています。国際森林年も今月までですが、是非、排出削減と同時にCO2吸収への理解が広まってほしいと思います。

～10/1「森づくりふれあいフェスタ」&11/6「地域木材フェア」～



11/6 地域木材フェアでのブース

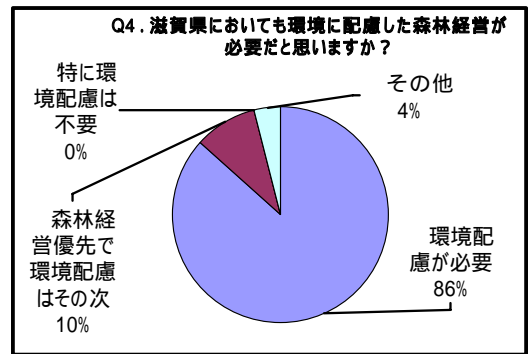
今年、滋賀県の団体として初めてSGEC森林認証を取得した金勝生産森林組合さんと甲賀林材(株)さんは、森林認証の普及を図って10/1に彦根市の荒神山公園で実施された「森づくりふれあいフェスタ」および11/6にアグリの郷栗東で開催された「地域木材フェア」に、SGEC森林認証への理解を広めるためのブースを出展されました。それぞれのブースでは、SGEC材丸太やパネル展示と同時に、滋賀県内でのSGEC森林認証取

の認知度を調べるためにアンケート調査を実施されました。その集計結果の一部を紹介します。

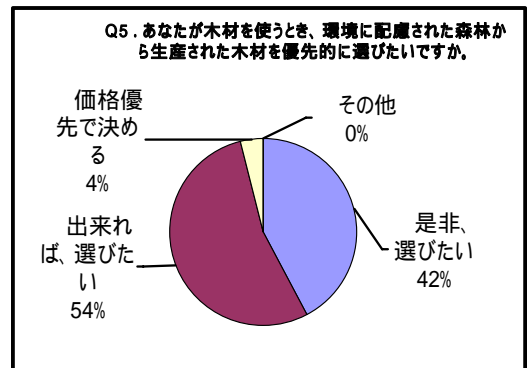
「森づくりふれあいフェスタ」は、森林関係イベントであることから、予備知識のある方も多く来場されます。「森林認証を知っていますか」との質問には、6割を超える方が「よく知っている」または「言葉程度は知っている。」との回答でした。また「県内で初の森林認証取得について知っていますか」との質問にも約半数は「よく知っている」「聞き覚えがある」と回答しています。

一方「地域木材フェア」では、会場が道の駅であり、森林関係の予備知識を持たない来場者も多く、その影響もあって「森林認証について知っていますか」との質問には、「よく知っている」もしくは「言葉程度は知っている。」と回答した人が4割程度と少なめでした。また「県内で初の森林認証取得について知っていますか」との質問にも「知らない」との回答が8割近くもありました。

ところが、森林認証などの「環境配慮は必要と思いますか」との質問には、いずれの会場においても9割近くの方が「必要」との回答でした。また、「木材使用時は、環境に配慮された木材を選びますか」との質問には、いずれの会場も95%前後の方が「是非、選びたい」「出来れば選びたい」との回答でした。



グラフは上下とも11/6の結果



おしらせ

平成23年度 実践講座

平成23年12月9日(金) 13:30~16:30 <栗東市農林業技術センター(栗東市御園)>

森林施業においては地図上の位置の正確な把握が基本となります。オリエンテーリング競技では、GPSを使って詳細な地図データを作成していきます。今回はこの技術を応用した森林の現況把握や境界管理の方法を学びます。

2011年は、国際森林年！！

ちなみに2012年は「国際協同組合同年」



2011・国際森林年